

【6月のテーマ】 戦国武将の家紋を探そう！

案内人：弘實さと子（鳥の博物館市民スタッフ）
望月みずき（鳥の博物館学芸員）



▲雀を用いた家紋(竹に雀)とスズメ。上杉謙信と伊達政宗が雀紋を使用していたとされる。

家紋は先祖代々の家系や家柄、地位を表す紋様です。戦国時代には合戦の際に敵味方を見分けるために武家の家紋を旗に掲げていたほか、武具や日用品にも使われていました。家紋には身近な生き物が数多く使われ、その由来も様々です。家紋に出てくる生き物を観察し、どうしてそれらがモチーフとなったのか考えてみましょう。

2021年6月12日（土）

車や自転車に注意しましょう。水田や私有地では、マナーを守って観察しましょう。

【身近な生き物がモチーフとなっている家紋一覧】

ちょう
【蝶】



アゲハチョウ
などを参考に
作られた家紋。
平家が使用。

しょうぶ
【菖蒲】



ショウブは邪
気払いの植物
として縁起の
良いものとさ
れる。

さぎ
【鷺】



冠羽や腰の飾
り羽がある繁
殖期のサギが
モチーフ。鷺
桐紋は桐紋に
似せた配置。

きり
【桐】



五七桐の家紋。
キリの花・葉
がモチーフ。
豊臣秀吉や香
取神社、日本
政府紋章など。

いちよう
【银杏】



三つ银杏紋。
イチヨウは長
寿のシンボル
として祭られ
る。日光東照
宮などが使用。

かえで
【楓】



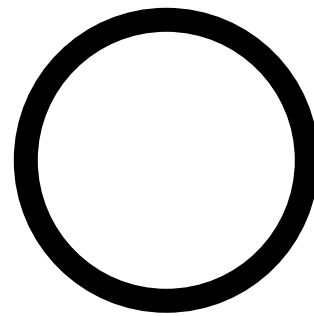
尻合わせ三つ
楓紋。葉と実
の組み合わせ
や、葉を蝶形
にしたものな
どがある。

つばめ
【燕】



波の合間を飛
ぶツバメを表
す家紋。燕紋
は武士に好ま
れたと言われ
ている。

【家紋創作】



今、戦国武将
と同じ生き物
を見ている。
あなたはどん
な家紋を作り
ますか？